

2022 AC

1st. Celebrate Sukkot

原語で味わう創世記第1章

特別集中講座 10/9~16

9日(夜) No.1

「創世記第一章」を学ぶ上で大切な視点

【新改訳2017】

①ヨハネの福音書5章39節

あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、聖書を調べています。

その聖書は、わたしについて証ししているものです。

【新改訳2017】

②イザヤ書 46章10節

わたしは後のことを初めから告げ、まだなされていないことを昔から告げ、『わたしの計画は成就し、わたしの望むことをすべて成し遂げる』と言う。

※聖書のシナリオライターは時間と空間に支配されない永遠の神です。シナリオが歴史の中に突入する時、その初めと終わりが規定されることは当然のことです。

「創世記第一章」を学ぶ上で大切な視点

【新改訳2017】

③イザヤ書34章16節

【主】の書物を調べて読め。
これらのもののうち、どれも失われていない。
それぞれ自分の伴侶を欠くものはない。
それは、主の口がこれを命じ、
主の御霊がこれらを集めたからである。

※「自分の伴侶」にたとえられているのは、神のみことばの証言が必ず伴侶のように置かれているということの意味します。例えば、「千年」「十四万四千人」など。

「創世記第一章」を学ぶ上で大切な視点

●創世記1章に関する注解書は多く書かれていますが、その多くが宇宙(地球)の始まりと考えています。しかしアシュレークラスでは、創世記1章を「**神の永遠のご計画の全貌が啓示されている章**」という視点で学んで行きます。

【新改訳2017】ヘブル人への手紙 4章12節

神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、**たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。**

●私たちが持っている「理解の型紙」(この世の知恵、常識、教理)という眼鏡を外して、霊を働かせることが不可欠です(Ⅱコリ5:16, 3:6)。私たちの霊の目が開かれるよう、「シエーム・イエシュア」を呼びつつ、学んで行きたいと思います。

1. 1節のテキスト

【新改訳2017】 はじめに神が天と地を創造された。

【聖書協会共同訳】 初めに神は天と地を創造された。

【NKJV】 In the beginning God created the heavens and the earth.

ハーアーレツ

ヴェエート

ハツシャーマイム

エート

エローヒーム

バーラー

ベレーシート

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ :

その地

とを

その天と

を

神は

創造した

はじめに

①「はじめに」②「神が」③「天」④「と」⑤「地」⑥「を」⑦「創造された」とあるように、原文でも**七つの単語**から結成されています。

① בְּרֵאשִׁית ② אֱלֹהִים ③ הַשָּׁמַיִם ④ וְ ⑤ הָאָרֶץ ⑥ אֶת ⑦ בָּרָא

2. 「神が創造された」 עֲלֵמָה בְּרָאָה ①

●本ACは1節を**聖書全体の表題**としました。1節を主語と述語のみにするなら「神が創造された」となります。神は複数形ですが、動詞は単数形です。これは「三一の神」を意味しています。

●複数形の「エローヒム」だけを見ると分かりませんが、動詞の「バーラー」(עָלַם)を見るなら、そこに三の神が啓示されていることが分かります。以下のように、三つの文字それぞれが「父・子・霊」を啓示する頭文字となっています。

(1) ע は「子」を表す「ベーン」(בֵּן)の頭文字です。

(2) ל は「霊」を表す「ルーアツハ」(רוּחַ)の頭文字です。

(3) א は「父」を表す「アーヴ」(אָב)の頭文字です。

2. 「神が創造された」 בָּרָא אֱלֹהִים ②

● Hebrewの動詞の時制には「完了形と未完了形」しかありません。ここでは「預言的完了形」で、必ずそうなるという意味があります。また、動詞の基本形は他の言語とは異なり、三人称男性単数が基本形です。つまりヘレニズムの人間中心ではなく、ヘブライズムの神中心の言語だということです。

● 最初の動詞「創造する」を意味する「バーラー」は、神にしか使われません。旧約では「創造の神」を「父」としています。

(1) 申命記32章6節「・・・主はあなたを造った父ではないか。主はあなたを造り上げ、あなたを堅く立てた方ではないか。」

(2) イザヤ書64章8節「・・・【主】よ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土で、あなたは私たちの陶器師です。・・・」

(3) マラキ書2章10節「私たちすべてには、唯一の父がいるではないか。唯一の神が、私たちを創造されたではないか。・・・」

3. 「はじめに」 בְּרֵאשִׁית ①

● 「はじめに」(「ベレーシート」 בְּרֵאשִׁית)の中にイエシュアが啓示されています。「はじめ」は「**初穂・最上のもの**」を意味する「レーシート」(בְּרֵאשִׁית)です。

【新改訳2017】 I コリント人への手紙15章20節

・ ・ **今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。**

●キリストが「初穂として」ということは、彼が死なれたことを前提としています。死んだということとは、彼が人となられた方であったことを意味します。イエシュアの受肉から死と復活・昇天・着座に至るまでの神の一連の贖いによって、神は天と地を創造なさるのです。この「創造」は贖いを含んだ再創造(キリストにある新創造)を意味しているのです。

●しかし、この「ベレーシート」にはもう一つの見方があります。

3. 「はじめに」 בְּרֵאשִׁית ②

● 「ユダヤ人から見たキリスト教」(ミルトス社)という本があります。私はこの本を通して、アラム語訳聖書では創世記の冒頭の「はじめに神が天と地を創造された」という部分が「**主は、知恵をもって天地を創造された**」と訳されていることを知りました。これは「ユダヤ人から見たキリスト教」を訳した手島勲矢(いざや)氏自身が書いた論文の中にあつた情報です。私はアラム語訳聖書のその部分について確認することができませんが、その情報は私にとって衝撃的でした。なぜそのように訳せるのかと云えば、「ベレーシート」の「レーシート」を箴言8章22～31節に基づいて、「知恵」を意味する「ホフマー」(חִכְמָה)と理解したためと手島氏は説明しています。つまり、「**わたしは知恵である**」(「アニー・ホフマー」אֲנִי חִכְמָה)という方によって(חִכְמָה)「天と地が創造された」という解釈です。箴言3章19節参照。

3. 「はじめに」 בְּרֵאשִׁית ③

- 箴言8章22～31節に突如登場する「わたし」という「先在的存在」、その「わたし」こそが「知恵」なのです。 אֲנִי כִּכְתָבִים

22 【主】は、ご自分の働きのはじめに、そのみわざの最初に、**わたし**を得ておられた(אֲנִי = 造られた)。

23 **わたし**は、大昔に、初めに、大地の始まりの前に、立てられていた(אֲנִי = 任命された)。

24 まだ深淵もなく、水のみなぎる源もなかったとき、**わたし**は生み出された。

25 山が立てられる前に、丘より先に、**わたし**は生み出された。

26 主がまだ地も野原も、世界の最初のちりも造っておられなかったときに。

27 主が天を堅く立てられたとき、**わたし**はそこにいた。主が深淵の面に円を描かれたとき、

28 上の方に大空を固め、深淵の源を堅く定められたとき、

29 海にその境界を置き、その水が主の仰せを越えないようにし、地の基を定められたとき、

30 **わたし**は神の傍らで、これを組み立てる者であった。(=名匠・熟練工)

わたしは毎日喜び、いつも御前で楽しんでいた。

31 主の地、この世界で楽しみ、人の子らを喜んだ。

3. 「はじめに」 בְּרֵאשִׁית ④

●8章22節以降は、「アニー・ホフマー」(אֲנִי־הוֹמָר)を鍵にして読まなければ解くことができません。

(1) 知恵の先在性 (22~26節)

創造のわざが始められていなかったとき、海も地も山もそれら一切がなかったときに、神の知恵としての「アニー・ホフマー」がそこにおられたのです。

(2) 知恵によるわざ (27~31節)

世界が存在する前にあった知恵が、創造の際にどのようなわざをなされたかが記されています。それは緻密で、神秘に満ちています。

●特に、30節の「神の傍らで、これを組み立てる者(=名匠・熟練工)」の実体こそ、イエシュア・メシアです。パウロは「キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました」(Iコリント1:30)と言っています。神の知恵は一連の贖いの出来事を含んでいると言えます。

3. 「はじめに」 בְּרֵאשִׁית ⑤

● イエシュアは**創造主**のみならず、最初の**被造物**でもあります。また神の定められたご計画の実現においても、人知では到底測り知れない**神の知恵**をもってなされることを示しています。使徒パウロはそのことを「**みこころの奥義**」と表現しています。

● 詩篇81篇にアサフが語った「私はまだ知らなかったことばを聞いた」(5節)があります。「ことば」と訳されたヘブル語は「サーファー」(קִרְפָּא)で、本来、口で語られる「話しことば」を意味します。それは「たとえ」です。なぜイエシュアは御国の奥義をたとえで語ったのでしょうか。それは私たちを「試す」ためです。神が語られることばの真意を自ら尋ね求めるのでなければ、それを悟る道は閉じられてしまうような語りかけのことばなのです。神の奥義は、それを尋ねる者にしか啓示されることはないのです。これは神の知恵です。その知恵によって「天と地」、すなわち「神と人がともに住む家」が建てられるのです。

4. 「天と地」を結ぶイエシュア ①

ハーアーレツ

ヴェエート

ハツシャーマイム

エート

エローヒーム

バーラー

ベレーシート

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ :

● 緑色の部分は「天と地を」を意味する部分です。ここにもイエシュアが証しされています。どのように証しされているのでしょうか。

(1) 「・・を」を意味する目的格を示す「エート」(אֶת)

● 「エート」(אֶת)を構成する二つの文字は「アーレフ」と「ターヴ」で、ヘブル文字の最初と最後の文字です。イエシュアは「わたしは・・最初であり、最後である。初めであり、終わりである」(黙示録22:13)方です。すべてのすべてとなられる方なのです。

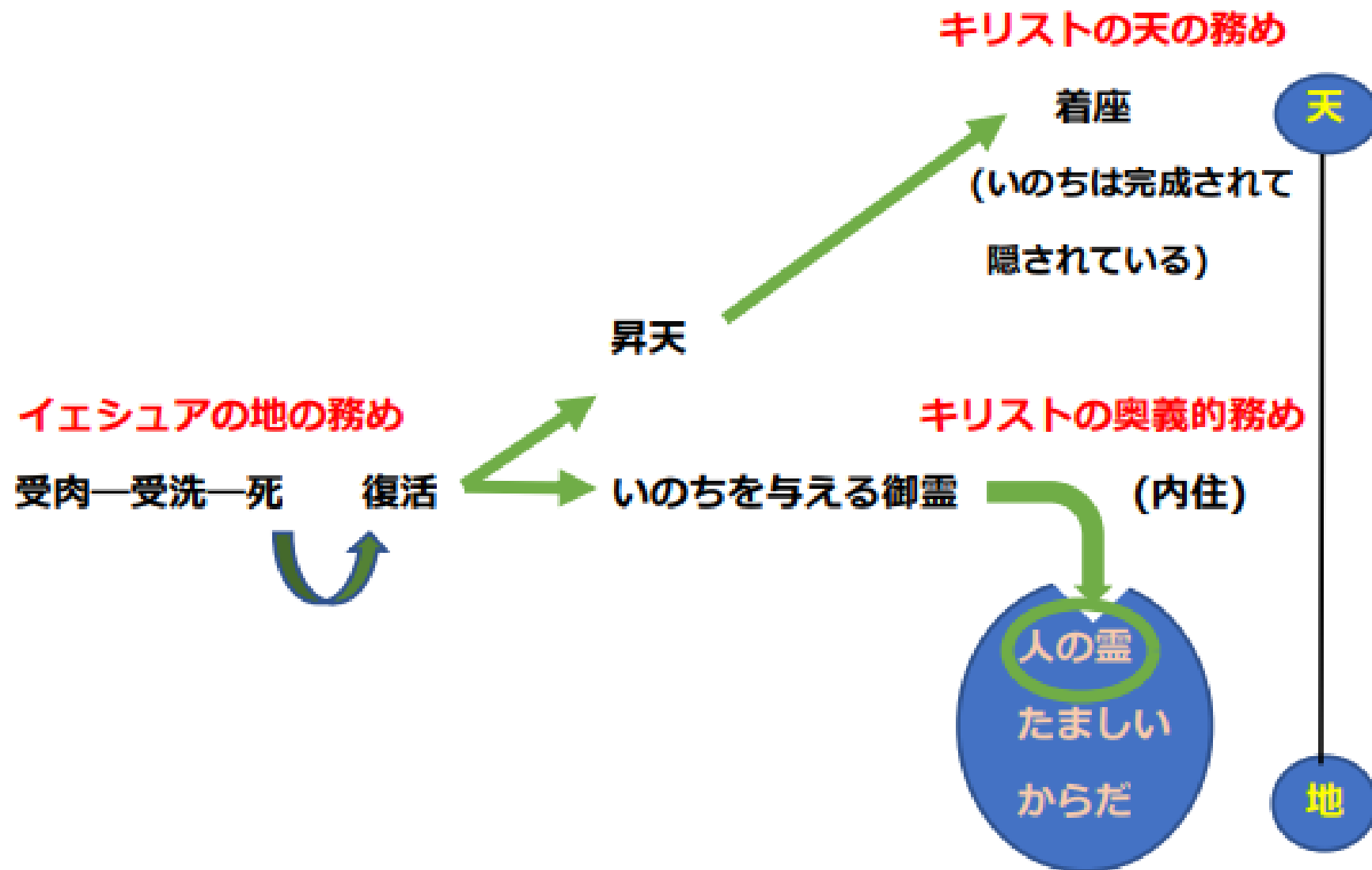
(2) 天と地を連結する文字「ヴァーヴ」(וְ)

● これもイエシュアを啓示しています。①ヤコブの梯子 ②イエシュアの贖い

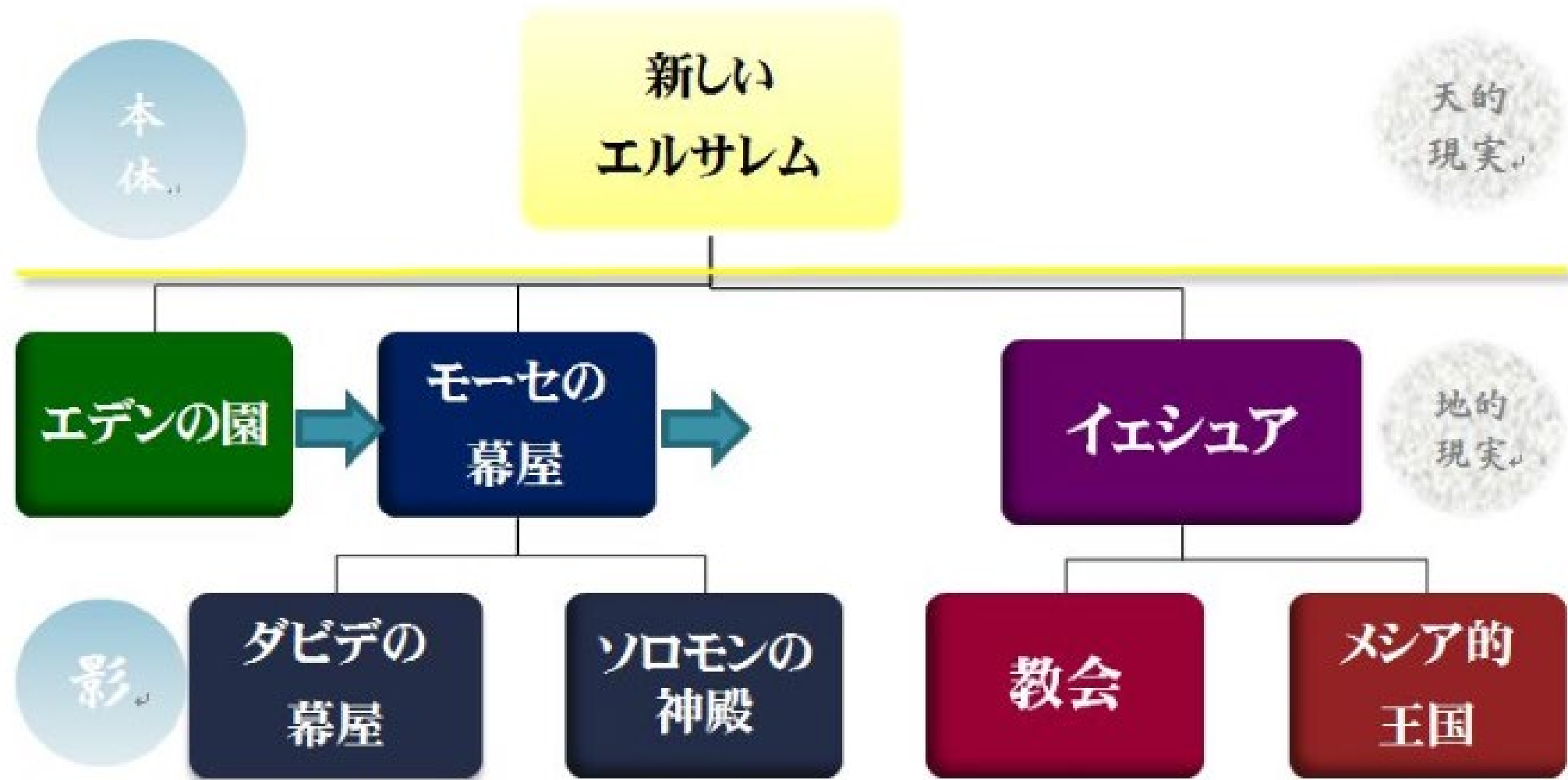
4. 「天と地」を結ぶイエシュア ②

●イエシュアの一連の贖いの出来事によって天と地は結ばれています。

●天は神の臨在される場として造られます。地はその神を表現する場です。人は神の代理者として、神の栄光が現わされる場としての地を治める者となるのです。



4. 「天と地」を結ぶイエシュア ③



5. 「1節に隠されたゲマトリア」①

14文字

14文字

בְּרֵאשִׁית בְּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ

296

407

395

401

86

203

913



Total 2701=(37×73)

5. 「1節に隠されたゲマトリア」②

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ
86 + 913 = 999

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ
395 + 401 + 203 = 999

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ
296(地) + 395(天) + 86(神) = 777

5. 「1節に隠されたゲマトリア」 ③

$$\begin{array}{ccccccc} \text{בְּרֵאשִׁית בְּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ} & & & & & & \\ 407 & + & 395 & & + & 86 & = 888 \end{array}$$

- 999, 888, 777 すべて素数の37で割り切れます。

777 = σταυρός 十字架 999 = はじめに神が

888 = Ἰησοῦς イエーサース(イエシュア)

6. 「8」はイエシュアの象徴 ①

● 「仮庵の祭り」は7日間続き、プラス1日の8日間にわたる祝祭日です。ヨハネの福音書7章37節では、仮庵の祭りの「8日目」が「祭りの終わりの大いなる日」と呼ばれています。「祭りの終わりの大いなる日」と言うのにはそれなりの理由があります。つまり、**「8」という数は神と人との新しい契約を象徴する数字**だからです。イスラエルの民が新しく誕生した男子に神の民としての契約のしるしである「割礼」を施したのは、生後8日目でした。神の創造は6日間で終わり、第7日目には創造のわざを休まれ(安息され)ました。しかし第8日目があるのです。この日は人にとっては新しい第1日目ともなるのです。このように「8」は、イエシュアによる神の新しい創造を象徴する数でもあるのです。

6. 「8」はイエシュアの象徴 ②

- ①ノアの洪水後、8人の家族が新しい時代を担う者となった
(I ペテロ3:20)。
- ②イエシュアの先祖であるダビデ王はエッサイの8番目の息子
(I サム 17:12, 14)。
- ③イエシュアはエルサレム入場後、8日目の日曜日に復活された
(ルカ24:1)。
- ④復活後の8日目にトマスはイエシュアを「私の主、私の神」と告白した
(ヨハネ20:28)。

6. 「8」はイエシュアの象徴 ③

⑤ 神の「愛」を意味するヘブル語の「アーハヴ」(אהב)のゲマトリアは(1+5+2=)「8」です。「あなたはわたしの愛する子」(ルカ3:22)

⑥ 「8」は2の3乗(2×2×2=8)。これは一辺の長さを2とする立方体の体積と等しい数で、その立方体は「**新しいエルサレム**」を象徴しています。

● 「仮庵の祭りの終わりの大いなる日」である「8日目」を聖なる日として特別に祝うことはとても意味あることなのです。



今回のまとめ

【新改訳2017】 イザヤ書 46章10節

わたしは後のことを初めから告げ、まだなされていないことを昔から告げ『わたしの計画は成就し、わたしの望むことをすべて成し遂げる』と言う。

- 「後のこと」「まだなされていないこと」とは将来に起こることであり、「終わりのこと」です。つまり神のご計画の最終ステージに起こる出来事が、「初めから」告げられているのです。その意味で創世記1章1節は預言的です。
- 私たちは聖書をつまびらかに調べて、注意深く読まなければなりません。そして神のご計画の全貌を悟らなければならないのです。なぜなら、聖書の全体像を知ることが、クリスチャン信仰の歩みにおいて決定的な重要性をもっているからです。聖書ははじめから、神が最後に実現しようとしておられることを繰り返し繰り返し「型」を通して啓示しているのです。